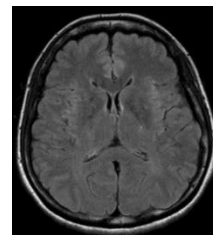


脳ドック所見の見方

MRI（エムアールアイ）

頭部（脳）の断面を画像化したものです。
脳や頭蓋内の病変を評価することができます。



虚血性変化（きょけつせいへんか）

（白質性病変・慢性虚血性変化・無症候性脳梗塞・陳旧性脳梗塞・ラクナ梗塞）

- 動脈硬化などで血液の流れが悪くなり、脳の一部分が変化した状態です。
- 基本的には問題はありませんが、生活習慣（喫煙習慣）や生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症など）の改善に留意が必要です。若年者の場合は専門科への受診が必要となる場合があります。

脳梗塞（のうこうそく）

- 脳の血管が詰まる病気です。
- 急性期の脳梗塞の場合は、早めの医療機関への受診が必要です。生活習慣の改善（喫煙習慣）や生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症など）の治療が必要です。

脳出血（のうしゅっけつ）

- 脳の中で血管が破れて、出血をおこしている状態です。
- 早めの医療機関への受診が必要です。高血圧の影響が最も多く、高血圧などの生活習慣病がある方は、生活習慣の改善や生活習慣病の治療が必要です。

無症候性脳出血・脳微小出血（むしょうこうせいのうしゅっけつ・のうびしょうしゅっけつ）

- 症状を起こしていない微小な脳の出血がある状態です。脳梗塞などの発症の危険因子となります。脳の中で血管が破れて、出血をおこしている状態です。
- 早急な治療や精査は必要ありませんが、将来的な脳梗塞などの予防のため、高血圧などの生活習慣病がある方は、生活習慣の改善や生活習慣病の治療が必要です。

脳嚢胞（のうのうほう）

- 脳内に生じた袋状のもので、中に液状の内容物がたまっています。嚢胞の発生部位によって、くも膜嚢胞、脈絡叢嚢胞などがあります。
- ほとんどの場合、症状はないため問題はありませんが、まれに嚢胞ができる場所や大きさによって症状が出る場合があります。

脳血管腫（のうけっかんしゅ）

- 脳内の血管に生じた良性の病変です。
- 悪性化することはありませんので基本的には問題はありません。まれに大きさや発生部位によっては症状が出る場合があります。

脳萎縮 (のういしゅく)

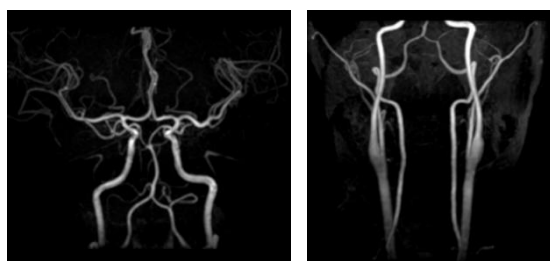
- 脳が小さくなっている状態です。
- 基本的に症状がない場合には問題ありませんが、経過観察が必要です。記憶力の障害などの自覚症状がある場合は、医療機関（脳神経の専門科）を受診してください。

脳腫瘍 (のうしゅよう)

- 頭蓋内に発生する腫瘍の総称で、脳ドックで見つかりやすい脳腫瘍は、髄膜腫や下垂体腺腫など良性の物が多いです。
- 腫瘍の種類等によって経過観察の場合と脳神経の専門科での治療が必要な場合があります。

MRA (エムアールエー)

脳や首の血管を立体画像化したものです。
血管の形態や血流を評価することができます。



未破裂脳動脈瘤 (みはれつのうどうみゃくりゅう)

- 脳の動脈の一部にできた瘤（こぶ）、血管の膨らみのことです。
- 小さいものは経過観察となりますが、大きいものや形状が不整な瘤は破裂のリスクとなり治療の適応となります。今後の方針につきましては結果報告書の記載をご確認ください。生活習慣（喫煙習慣）や生活習慣病（特に高血圧）の改善に留意が必要です。

脳動脈狭窄 (のうどうみゃくきょうさく)、頸動脈狭窄 (けいどうみゃくきょうさく)

- 脳の血管や首の血管（頸動脈）が細くなっている状態（狭窄）か、詰まっている状態（閉塞）です。
- 経過観察が必要で、生活習慣の改善（喫煙習慣）や生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症など）の改善に留意が必要です。閉塞している場合や、高度狭窄している場合は治療の適応となります。

脳動脈解離 (のうどうみゃくかいり)、椎骨動脈解離 (ついこつどうみゃくかいり)

- 脳の動脈や首の動脈の壁の内側にある膜が裂けることで発症する疾患です。血管の狭窄や閉塞をきたすことで脳梗塞を発症したり、破裂してくも膜下出血を生じたりします。
- 症状に関係なく早期の医療機関への受診をお勧めします。

脳動静脈奇形 (のうどうじょうみゃくきけい)

- 脳の血管が正常に形成されず脳の動脈と静脈が直接つながっている状態です。
- 原則的に脳神経の専門科での治療適応となります。

各所見の今後の方針については、結果書の総合判定をご確認ください。
ご不明な点がございましたら、以下の連絡先までご連絡ください。